

令和6年度 八幡浜市立八代中学校 学校評価表

\* 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合を肯定率とする。分からない・回答できないは、分母に含まない。  
 \* 平均値は、「よくあてはまる→4 ややあてはまる→3 あまりあてはまらない→2 全くあてはまらない→1」として計算

NO	対象	令和6年度（前期）項目	R5後期 肯定率	R6前期 肯定率	比較	R6	R6	R6	R5後期 平均	R6前期 平均	比較	R6	R6	R6	分析と対応	
						前期1年	前期2年	前期3年				前期1年	前期2年	前期3年		
【教育目標】	1 教師	本校の教育目標である『共に「学び 思いやり 鍛え」進む』の実践に努めている。	95%	100%					3.2	3.5					○全体的に高い評価を得ている。今後も教育目標の実現に向けて学校・保護者・地域で連携しながら学校の教育活動の充実に努めたい。	
	2 教師	学校で生徒のよさや可能性が発揮され、一人一人が輝く場面をつくっている。	95%	100%					3.0	3.3						
	2 生徒	自分のよさや可能性が発揮でき、諸活動に前向きに取り組んでいる。	93%	88%		85%	85%	96%	3.4	3.2		3.2	3.2	3.3		
	2 保護者	学校ではお子さんのよさや可能性が発揮され、諸活動に前向きに取り組んでいる。	87%	85%		86%	87%	83%	3.2	3.1		3.1	3.0	3.1		
	2 地域	生徒のよさや可能性が発揮され、諸活動に前向きに取り組んでいる。	100%	100%					3.5	3.6						
	3 教師	いじめ問題に対し、居心地の良い学校づくりに努めている。	100%	100%					3.2	3.5						
【家庭・地域との連携・協働】	3 生徒	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	97%	91%		78%	93%	98%	3.6	3.4		3.3	3.4	3.5	○ICTを活用したアンケートを、生徒は2か月に1度、保護者は学期に1度行い、いじめの早期発見に努めている。 ○気になる回答や事例があった際には、速やかに事実確認を行ったり、対応会議を開いたりし、いじめの早期解決に努めている。 ○1年生の評価がやや低くなっている。小学校6校の児童が一緒になり、人間関係のトラブルや気になる言動も見られるが、学年主任を中心に、個別や全体への指導を繰り返し行っている。	
	3 保護者	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	93%	91%		88%	96%	89%	3.2	3.1		3.1	3.2	3.0		
	3 地域	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	100%	91%					3.3	3.4						
	4 教師	保護者や地域の方が、行事やその他の教育活動に参加しやすいような工夫に努めている。	95%	94%					3.1	3.0						○引き続き、授業公開や校長だより、ホームページ、八中だより、生徒指導だより等を活用して学校の様子を発信していきたい。
	4 保護者	学校は、保護者や地域との関わりを多く持ち、温かい信頼関係を築いており、来校しやすい雰囲気がある。	88%	88%		86%	89%	91%	3.2	3.1		3.2	3.1	3.1		
	4 地域	学校は、保護者や地域との関わりを多く持ち、温かい信頼関係を築いており、来校しやすい雰囲気がある。	89%	92%					3.2	3.2						
5 教師	教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭・地域に知らせるように努めている。	89%	82%					3.0	3.2							
【学年・学級活動】	5 保護者	学校は、教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭や地域に知らせられている。	96%	96%		96%	93%	###	3.3	3.4		3.5	3.4	3.4	○ホームページについては、個人情報保護の観点を意識した上で、保護者や地域に向け、こまめな情報発信を心掛け、学校教育活動への理解と協力をお願いする。	
	5 地域	学校は、教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭や地域に知らせられている。	91%	100%					3.5	3.6						
	6 教師	地域の人の協力を得て、教育活動を進めようと努めている。	84%	76%					2.9	3.1						○コロナ禍から1年が経過し、地域に出かけたり、地域の方を招いたりしての活動が戻ってきている。今後は持続可能な充実した活動の在り方について、学校・保護者・地域と連携しながら、積極的に地域の力を活用し、地域に開かれた学校教育の実現を目指したい。
	6 保護者	学校は、地域の人の協力を得て教育活動を進めようと努めている。	91%	92%		93%	90%	91%	3.2	3.2		3.3	3.1	3.1		
	6 地域	学校は、地域の人の協力を得て教育活動を進めようと努めている。	91%	85%					3.3	3.3						
	7 生徒	学校生活が楽しい。	93%	91%		83%	92%	96%	3.5	3.4		3.4	3.4	3.5		
7 保護者	お子さんは、元気に楽しそうに学校へ通っている。	88%	90%		93%	89%	85%	3.3	3.3		3.4	3.3	3.2	○全体的に高い評価を得ている。生徒の評価は、学年が上がるにつれて高くなっているが、保護者の評価は、その逆に下がっている。3年生は、最高学年としての大変さや進路等の悩みを抱えつつも、前向きに主体的に取り組むことができている。1年生は、例年、中学校の決まりや生活のリズムに慣れるのに苦労するが、欠席も少なく、元気に登校することができている。		
7 地域	八代中の生徒は、元気に楽しそうに学校へ通っている。	88%	92%					3.1	3.4							
8 教師	様々な活動で、議論したり、競い合ったりして、お互いに高め合う生徒の育成に努めている。	95%	82%	↓				3.2	3.1						○教師、生徒、保護者とも評価が下がっている。 ○議論したり、競い合ったりして、お互いに高め合うために必要な風土づくりに努めたい。そのために、問答ゲームの充実や合意形成を目指した話し合い活動などを通して、仲間づくりやコミュニケーション能力の育成に努める。	
8 生徒	八代中の生徒は、様々な活動で、議論したり、競い合ったりしながら、お互いを高め合っている。	93%	85%		84%	82%	85%	3.5	3.3		3.4	3.3	3.2			
8 保護者	八代中の生徒は、様々な活動で、議論したり、競い合ったりしながら、お互いを高め合っている。	88%	87%		89%	83%	88%	3.1	3.1		3.2	3.0	3.0			
9 教師	生徒は時と場に応じたさわやかな挨拶をしている。	72%	71%					2.8	2.7							○生徒の評価は高いが、教師、保護者、地域の評価はやや低くなっている。 ○5月下旬に生活委員長を中心に、挨拶に関する集会を実施し、八中生の挨拶の現状や挨拶の良さについて話し合った。意識が高まるとともに、気持ちの良い挨拶のできる生徒が増えたが、時間の経過とともに意識が低下しつつある。生活委員長が目指す「相手に伝わる声」「相手の目を見る」「先取り挨拶」が、学校だけでなく地域にも浸透するよう、引き続き生活委員会を中心に活動を行ってほしい。
9 生徒	学校や地域で、時と場に応じてさわやかなあいさつをしている。	95%	87%		82%	89%	85%	3.4	3.3		3.3	3.4	3.3			
9 保護者	八代中の生徒の挨拶は、爽やかである。	71%	73%		78%	65%	76%	2.8	2.8		3.0	2.6	2.9			
9 地域	八代中の生徒の挨拶は、爽やかである。	63%	71%					2.6	3.0							
【教育活動】	10 教師	自発的・自治的な学級活動や生徒会活動を推進している。	100%	100%					3.3	3.1					○今年度は生徒会活動を中心に生徒の自律・尊重を目指し、主体性を大切にした活動を意識している。今後は、生徒会本部役員が全体へ語り、全校動かしリーダーシップを育成したい。	
	10 生徒	学級活動や生徒会活動に自主的、積極的に取り組んでいる。	86%	80%		70%	83%	87%	3.3	3.2		3.0	3.2	3.3		
	11 教師	ふるさと教育やキャリア教育を推進し、夢と希望を持ち、目標に向けてチャレンジする生徒の育成に努めている。	89%	94%					2.9	3.1						○昨年同様、保護者の評価が低い。 ○この項目については、夢や希望を語り、楽しく働いたり、生き生きと活動したりする大人（教師・保護者・地域ともに）が重要であると考えている。学校では教師がよいロールモデルとなることを大切にしたい。
	11 生徒	将来の夢や希望を持ち、目標に向けてチャレンジしている。	90%	84%		75%	87%	86%	3.5	3.3		3.3	3.3	3.2		
	11 保護者	お子さんは、将来の夢や希望を持ち、目標に向けてチャレンジしている。	68%	66%		68%	70%	58%	2.8	2.8		2.8	2.8	2.7		
	12 教師	思いやりの心を育む道徳教育を推進している。	95%	94%					3.0	3.2						○全体的に高い評価を得ている。引き続き充実した道徳教育の実践に努めたい。
13 教師	特別支援学級と通常学級との交流が効果的に図れるよう、場の設定や活動の工夫に努めている。	72%	81%					2.8	2.9					○昨年度より学年の情報を伝えられることが多くなり、支援学級の生徒を交流学級の生徒の活動の場に参加させる機会が多くなった。今後も情報を共有しつつ、支援学級側からも啓発していく必要があると感じる。		
14 教師	人権感覚を高め、差別解消への実践力を育てることに努めている。	100%	94%					3.1	3.4					○研修や日常の対話の中で教職員の人権感覚を高めるとともに、積極的な生徒指導や人権・同和教育に努め、多様性を受容し、他者を尊重できる生徒の育成を目指したい。		

令和6年度 八幡浜市立八代中学校 学校評価表

\* 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合を肯定率とする。分からない・回答できないは、分母に含まない。  
 \* 平均値は、「よくあてはまる→4 ややあてはまる→3 あまりあてはまらない→2 全くあてはまらない→1」として計算

NO	対象	令和6年度（前期）項目	R5後期 肯定率	R6前期 肯定率	比較	R6	R6	R6	R5後期 平均	R6前期 平均	比較	R6	R6	R6	分析と対応	
						前期 1年	前期 2年	前期 3年				前期 1年	前期 2年	前期 3年		
〔学力向上〕	15 教師	基礎・基本の徹底と、分かる授業の実践に努めている。	94%	94%					3.2	3.5					○教師→生徒→保護者の差が大きい。 ○引き続き「分かる授業の実践」と「生徒の主体性を重視した授業展開」に努めたい。 ○多様化する生徒の実態を踏まえて、特別支援教育の視点を取り入れた授業改善に関する研修を行った。今後、学年部で連携し、取り組んでいきたい。	
	15 生徒	授業の内容が分かり、基礎的・基本的なことが理解できている。	82%	79%		76%	79%	77%	3.2	3.1		3.1	3.2	3.0		
	15 保護者	お子さんは、授業を通して、基礎的・基本的な内容が身に付いている。	63%	57%		57%	51%	65%	2.8	2.7		2.7	2.6	2.7		
	16 教師	生徒は自主学習に励んでいる。	83%	56%	↓				2.9	2.5						○昨年、自主学習の在り方について教職員で検討したものの、具体的な方策に結びついていない現状がある。今後、教科会等で検討し、生徒や保護者、教職員の共通理解を図りたい。 ○家庭学習として課している自主学習ノートについては、学年や個によって取り組みが様々である。生徒の実態に合わせた家庭学習の在り方について検討したい。
	16 生徒	自主学習に励んでいる	82%	71%		70%	73%	67%	3.2	2.9		3.0	3.0	2.8		
	16 保護者	お子さんは、自主学習に励んでいる	63%	51%		53%	51%	48%	2.7	2.5		2.6	2.5	2.6		
	17 教師	生徒は粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。	88%	63%	↓				2.9	2.6						○教師、生徒、保護者ともに評価が下がっている。 ○生徒の学習改善に向けて、授業改善に努めるとともに、個に応じた指導や支援を行う。 ○家庭や学校において、自己決定を重視した声掛けを行い、主体性や自己肯定感を高める支援を行う。また、安心して学習に取り組める環境づくりに取り組む。
	17 生徒	粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。	84%	71%	↓	68%	66%	77%	3.2	3.0		3.0	2.9	3.0		
	17 保護者	お子さんは、粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。	56%	43%	↓	43%	43%	43%	2.6	2.4		2.4	2.4	2.5		
18 教師	豊かな専門性を身に付けるために、校内研修や自主研修に積極的に参加している。	84%	100%	↑				3.1	3.1					○高い評価を得ている。年度初めに教職員対象に研修内容について希望調査を実施し、それに基づいて研修を計画、実施している。		
〔生徒指導〕	19 教師	生徒の安全対策に努めている。	100%	100%					3.5	3.5					○朝や放課後の登下校指導や長期休業中の校区巡視を行い、気になる生徒には声掛けや指導を行っている。 ○全体的に評価は高いものの、自転車のトラブルが数件あった。トラブルが起る場所に教員が立ち、下校指導を頻繁に行うことで、意識やマナーの向上に努めている。	
	19 生徒	登下校や自転車に乗るとき、事故がないよう、安全に気を付けている。	98%	96%		92%	94%	96%	3.8	3.7		3.8	3.7	3.7		
	19 保護者	学校は、生徒の安全確保に努めている。	94%	92%		93%	90%	93%	3.3	3.2		3.3	3.2	3.2		
	19 地域	学校は、生徒の安全確保に努めている。	100%	100%					3.6	3.4						
	20 教師	部活動の重要性を認識し、たくましい心身の育成に努めている。	94%	100%					3.4	3.4						○全体的に高い評価を得ている。生徒の評価・保護者の評価共に2年生が高くなっている。3年生は、総体やコンクールなどでいい成績を収められた生徒が多かった。1年生は、部活動に慣れるのに苦労することが多いが、今の所、夏休み中も積極的に参加することができている。
	20 生徒	部活動に意欲的に取り組んでいる。（取り組んでいた。）	94%	95%		89%	99%	91%	3.7	3.7		3.7	3.8	3.5		
	20 保護者	お子さんは、部活動に意欲的に参加している。（していた。）	92%	90%		89%	95%	87%	3.5	3.4		3.4	3.4	3.4		
	21 教師	家庭・地域・諸機関との連携を深め、積極的な生徒指導に努めている。	100%	88%	↓				3.2	3.2						○今年度も生徒指導だよりを発行し、学校の課題や指導の方向性を家庭や地域に発信している。 ○トラブルに関しては、生徒に当事者意識を持たせる指導を大切にし、家庭を含めたチーム学校を意識し、丁寧に迅速な対応を心掛けている。
	21 保護者	学校は、生活指導において、家庭との緊密な連携ができている。	86%	86%		81%	92%	88%	3.1	3.1		3.1	3.2	3.1		
	21 地域	学校は、生活指導において、家庭との緊密な連携ができている。	100%	100%					3.6	3.3						
22 教師	黙々と取り組む清掃を通し、心を磨く清掃を推進している。	83%	82%					3.0	3.1					○生徒と教師の評価の違いが見られ、教師の求める清掃活動と生徒の思う清掃活動の違いが予想される。 ○より良い清掃活動について考えたり、実際の方法を指導したりするなど、引き続き各清掃場所や担当者による指導が必要であると考えられる。 ○人数や分担についても工夫し、生徒会・委員会活動と連携して改善していきたい。		
22 生徒	黙々と取り組む清掃を通し、心を磨く清掃に取り組んでいる。	95%	87%		82%	88%	89%	3.6	3.3		3.3	3.4	3.3			
〔総務〕	23 教師	ICTを授業で積極的に活用し、協働的・探究的な学びを目指している。	83%	94%					3.1	3.3					○研修等の実施により、教員のICTを活用した授業実践への意識が高まっている。	
	24 教師	仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が長時間にならないよう意識改革に努めている。	75%	41%	↓				2.9	2.5					○中学校の統合も控える中、先生方の業務量も昨年以上に増していると感じる。業務や行事の精選等を意識しながら働き方改革を進めたい。	